

【目的】

子どもたちが、自分の生まれ育ったふるさとの景色や身近な人々との関わりを見つめ、発見したこと、感じたことを版画にすることで、作品を創り出す楽しさを経験し、自己を表現し、周りの人と共感し合うことを目的としています。

【課題】

『わたしの生活とふるさと』

以下は課題の一例です。子どもたちの生活の中から生まれたもの、思ったことを自由に表現してください。

- ・わたしが大好きなもの・ことを表現する
わたしの家族、頑張ってお手伝いしたこと、近所のあの人・この人、友達と遊んだ思い出
学校(こども園・保育園)生活の中で頑張ったこと・楽しかったこと、など
- ・わたしが学校や日々の生活の中で見つけたこと
悩んでいること、将来の夢、10年後のわたし、などを通して感じたもの
- ・ふるさとの風景
いつもの遊び場である山や川、思い出の建物、お気に入りの町並みや風景、などを通して
感じたもの
- ・身近にあるふるさとの文化
毎年参加しているお祭りや伝統行事、言い伝え・昔ばなし、近所のお寺・神社、
地元縁のある人について、自慢の郷土料理や名物・名産品、などを通してつかんだもの

【応募資格】

恵那市内のこども園・幼稚園・保育園、小・中学校及び特別支援学校(初等部・中等部)に在籍する
児童・生徒

【点数】

原則1人1点とし、共同制作作品については1グループにつき1点扱い(四つ切に限る)とします。

【賞】※予定

○特別賞 広重賞

恵那市長賞、恵那市議会議長賞、恵那市教育長賞、中山道広重美術館館長賞
恵那商工会議所会頭賞、恵那市恵南商工会会長賞、恵那市商店街連合会会長賞、
恵那市文化振興会会長賞、恵那市観光協会会長賞、恵那市小中学校校長会会長賞、
明知鉄道社長賞、日本大正村理事長賞、恵那ライオンズクラブ会長賞、
恵那ロータリークラブ会長賞、恵那青年会議所理事長賞

○奨励賞

○入選

○SDGs 賞…持続可能な開発目標(SDGs)に沿ったテーマで制作された作品を特別に表彰します。
SDGsを達成するために取り組んでいること、身近にある課題に対する問題提起、また
その解決方法などが表現された作品を選出します。

※特別賞受賞者からコメントをいただく場合があります。

【審査員】

地元の版画家、市・教育委員会・学校・園関係者、(公財)中山道広重美術館 理事・評議員

【作品規定】

<種類>

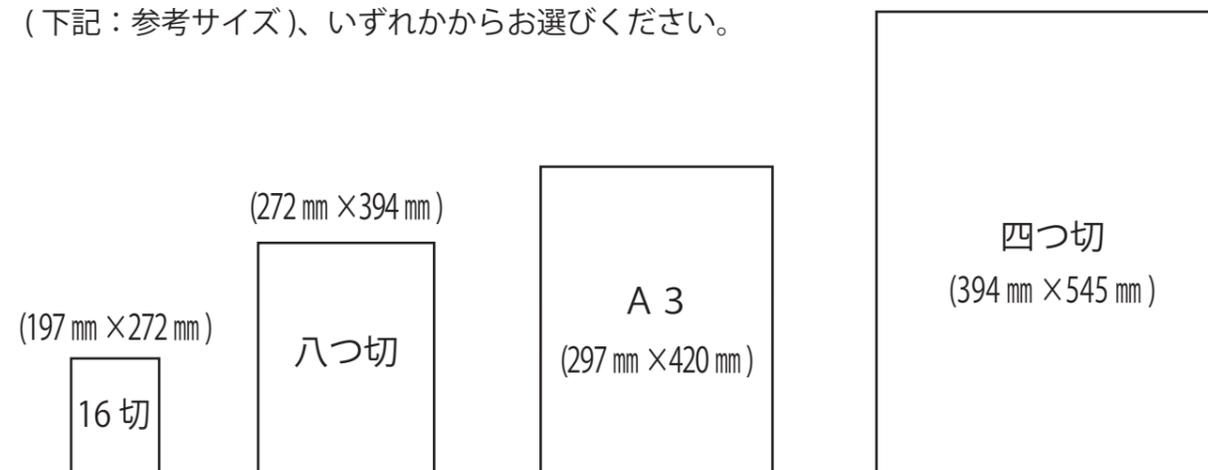
平面の版画作品で、単色刷り、多色刷りとも可能です。紙の種類、技法は問いません。

<サイズ>※下図参照

最大サイズ：四つ切(380mm×540mm)

最小サイズ：はがき大(100mm×148mm)

- ・上記サイズ内であればどのような大きさの作品でも結構です。
- ・ただし、台紙(作品裏を貼る画用紙)は作品の大きさによって四つ切、A3、八つ切、16切
(下記：参考サイズ)、いずれかからお選びください。



※作品の縦・横は問いません。

<題せん>

- ・縦・横作品共に作品の右下に貼り付けてください。(作品、台紙内に貼らないでください)
- ・当館指定の題せんフォーマットが作品に対して大きすぎる場合は各自でご用意ください。
記載情報は「題名、作者氏名、校名・園名、学年」です。

【作品提出】

- ・園・学校単位で取りまとめ、中山道広重美術館まで提出してください。午後4時30分以降は事務
所入口(美術館北側)までお願いいたします。
- ・応募者一覧表は提出作品に添えると共に、こども版画コンクール実行委員会事務局のメールアドレス
staff@hiroshige-ena.jpへも併せてご提出ください。応募者一覧表は当館指定のフォーマット(★)
をご利用ください。

★応募者一覧・題せんフォーマットの入手及びデータの提出方法について

園・校名、ご担当者様の氏名、フォーマットの送付を希望する旨をご記入の上、作品提出前日までに
staff@hiroshige-ena.jpへご連絡ください。フォーマットデータを添付し、返信いたします。なお、
毎年添付データが開けない等のお問い合わせがございます。外部アドレスから添付ファイルが受信
できない設定となっている場合は、予め設定の解除をお願いいたします。